

# 札幌線建設概要

## 一、總設

札幌線は既設函館本線桑園停車場より分岐して概ね石狩川右岸の坦々たる沃野を北進し留萌線石狩沼田停車場に接続する延長111 軒4分の鐵道にして専ら農産を主とする同地方の資源開發を使命とするのみならず函館本線の内札幌深川間を複線化するを以て相呼應して運輸交通上至大の好影響を齎すべき線路なり。

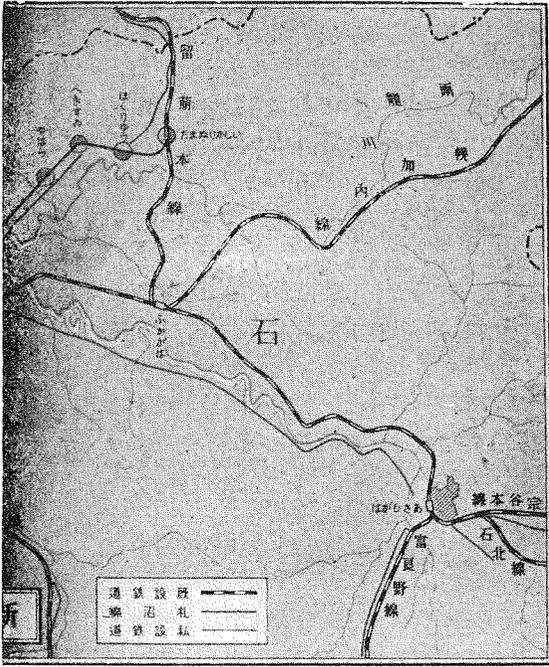
本線は大正十一年第四六議會の協贊を経て豫算成立し翌十二年四月鐵道省告示第六一號を以て北海道建設事務所の所管に入り同年五月札幌沼田兩方面より測量を開始して順次線路選定の上之を九ヶ工區に分ち沼田口は昭和二年十月札幌口は同四年七月より逐次工を進めて昭和六年十月石狩沼田、中徳富間 35 軒 1

分同九年十月には中徳富、浦臼間 13 軒 9 分次で十一月桑園、石狩當別、浦臼間 36 軒 3 分の竣功を以て測量開始以來十二ヶ年の歳月を閲して茲に全線の開通を見たるものなり。

## 二、線路並沿線の狀勢

北海道の首都札幌市の北西なる桑園旅客驛を發した本線は東方楡の木茂るところ北海道帝大の學園を望みつゝ右に札幌競馬場を迂迴して琴似村に入り茨戸街道を斜斷して平圃の間を直進其東端に新琴似停車場を置き創成川を渡りて篠路村に入り元茨戸軌道のあつた石狩街道を横斷耕圃地を篠路本村に進みて篠路停車場を設く。

驛の北西約 3 軒の地に石狩川改修工事に依り川切換の結果生じたる馬蹄型延長 17 軒餘の



鐵道省建設局工事課長

## 平山復二郎

茨戸河湖あり大陸的風光に富みボート、スカール、ヨット、スケート、釣魚等札幌近郊稀に見る水郷の地として四時遊覽者絶へず。

之より更に北西14軒にして石狩川河口の石狩町に達す日本海の紺碧深きところ大海原を飛交ふ廳白堊の燈臺砂丘に競ふ馥郁たるハマナスの香り一日のピクニック或はキャンプ又は海水浴の絶好の地にして夏去り秋來れば銀鱗潑濺たる本場アキアジの網に躍る壯快美一度は味ふべき所である札幌よりバスの便あり。

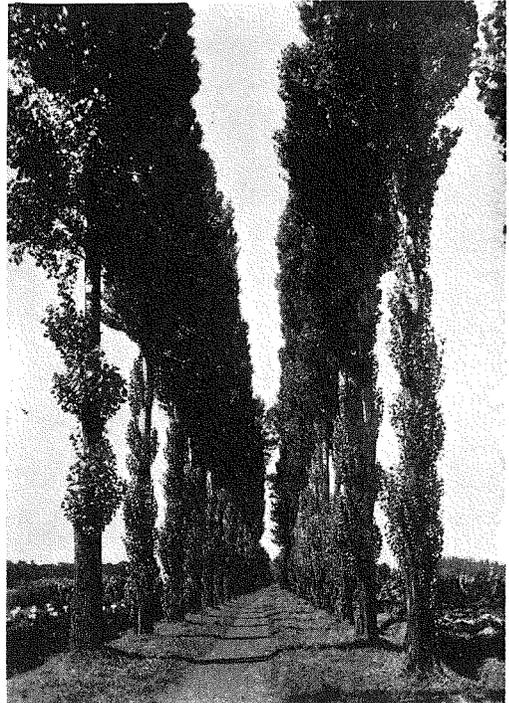
線路は篠路停車場を出て平圃の地に入り右折左轉一望の大泥炭地帯を過ぎ愈々本道一の石狩川橋梁に懸る。本橋梁は延長1,074米餘石狩川改修區間新水路中水深最も深き箇所の架橋工事で頗る難工事を續け工費約54萬圓と滿2ヶ年半の期間を以て竣功す。

本橋梁を渡れば石狩郡當別村にして廣漠たる當別太の沃野を直進して石狩太美停車場を置き東進石狩街道を経て當別市街に至り石狩當別停車場を設く石狩厚田月形江別方面に對する要衝の地にして屈指の米産地である。本市街より江別町迄ガソリン軌道あり。

夫より線路は當別川を渡り地方費道を横斷之と併進して平圃の間に石狩金澤停車場を置き再び地方費道を斜斷山角を削りて進み字中小屋に本中小屋停車場を設く驛の西方約1軒の谿谷に沿線唯一の中小屋温泉あり俗氣の抜けた山の湯として附近農村よりの湯治客多し又西方一帯の丘陵はスキーに適し驛の東南方に散在する各所の沼は釣魚地として名あり。

線路は更に地方費道に沿ひ丘陵を縫ひて北進本村の西端に中小屋停車場を設け東に轉じて樺戸郡月形村に入り地方費道に纏縮しつゝ丘岡を平圃に出て須部都川を渡りて石狩月形停車場に達す、本村は明治十四年重罪囚徴治

(2) 札幌郊外ポプラの並木。



の集治監設置せられてより開けたる村にして  
廣大なる農耕地は概ね司法省用地として之等  
囚徒の手に拓かれ一千有餘名から收容せられ  
しことあり大正八年廢止と共に民間に開放せ  
られ純農村として發展し米大小豆の産多し、  
現村役場は其の舊廳舎として纔に梯を留む驛  
の西方約6 軒なる地方費林内に周圍8 米高14  
米の俗に二千年の樹齡を誇る日本一と稱せら  
る一位の名木あり。

線路は夫より道路に遠ざかり漸く地勢稍錯  
綜せる丘陵地帯を漸昇本線最大の築堤又は切  
取を以て進み再び平地に出で左轉して札比内  
停車場を置き札比内川を渡りて丘裾を傳ひ概  
ね地方費道と併進して浦臼村に入り晩生内川  
を渡りて晩生内停車場を設け地方費道を斜斷  
して一路平圃の間を之と併行して浦臼市街に  
向ひ浦臼停車場に達す。

驛の北方約3 軒に鶴沼臺の勝地あり丘陵を

なし春の櫻秋の紅葉に佳く鶴沼、トイ沼、ピ  
ラ沼等指呼の間に收め眺望極めて佳なり境内  
に新四國靈場ありて春の山開き秋の山仕舞に  
は參詣者を以て全山を蔽ひ頗る殷賑を呈すと  
云ふ尙本驛を中心に大小の沼散在し鯉、鮒、  
鴨等多く太公望竝狩獵家の訪れ絶へざる地方  
とす。

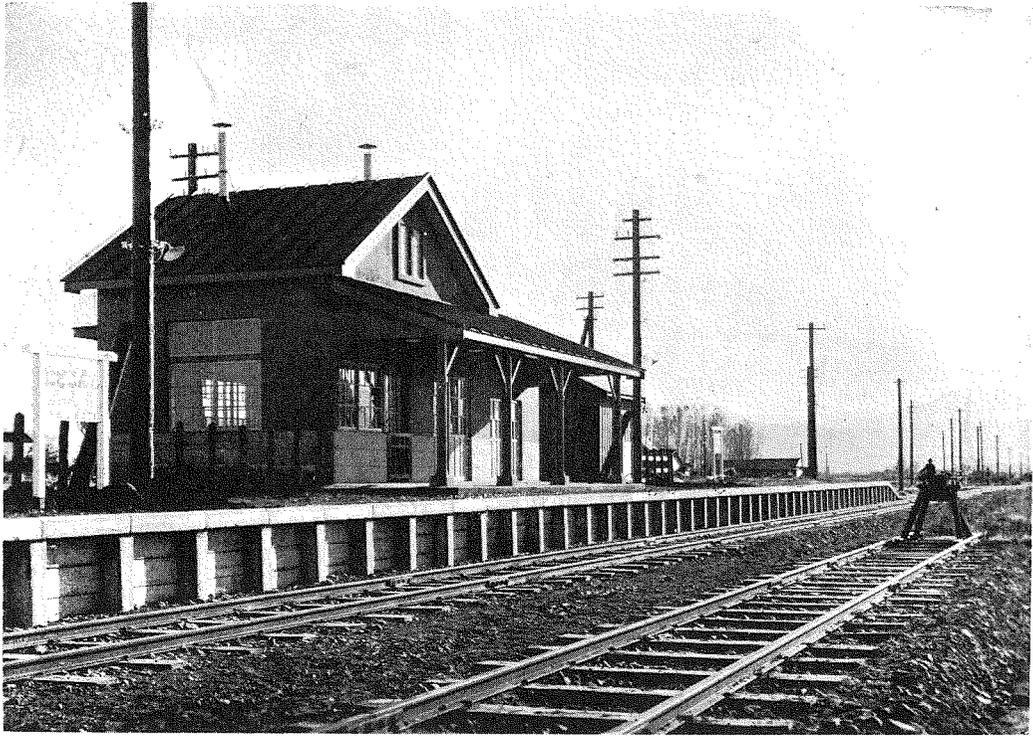
線路は地方費道を二度跨ぎて鶴沼臺の裾を  
北進於札内川を渡りて新十津川村に入り田圃  
の間に下徳富停車場を設く驛の西方20軒にピ  
ンネシリの秀峰あり(1,100米) 山頂よりは石  
狩大平原を一望に收め裏は日本海上水天鬘鬘  
の間に天賣焼尻利尻富士等の眺望を恣にし其  
景觀雄大を極め近時登山者多し。

線路は更に長驅して同村字菊水町の西方に  
中徳富停車場を設く。

本村は明治二十二年八月奈良縣吉野郡新十  
津川村にて未曾有の水害の爲一村悉く流失の

### (3) 札 幌 停 車 場 通 り。





(4) 新 琴 似 停 車 場。

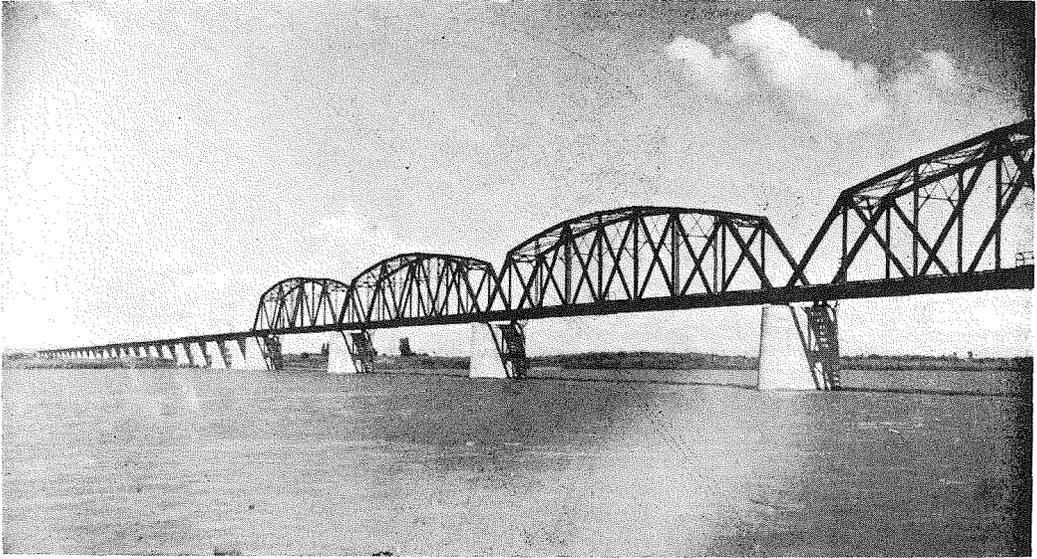
厄に遭ひ再起の見込なく翌年郷土 600 戸擧げて當地に移住したるに創り此名あり次の雨籠、北龍の二村は本村より分村せるものなり。

夫より徳富川を渡り田圃を直進して石狩橋本停車場に至り濱益街道を跨ぎて北上し上徳富停車場に出て右轉尾白利加川を渡りて雨籠郡雨籠村に入り雨籠市街の西方に屈して雨籠停車場を置き尙も田圃を北進して石狩追分停車場を設け地方費道を横斷丘陵を迂繞して恵岱別川を渡り北龍村に入りて和停車場を設け同市街を左に見て妹背牛停車場道路を横斷地方費道に會し之と併進して碧水停車場を設け右曲左轉して北龍市街の西部に北龍停車場を設置し平圃を北進右に旋回しつゝ地方費道を斜斷して幌新太刀別川を渡り沼田村に入りて同市街の西方より石狩沼田停車場に達し既設留崩線に連絡す。

### 三、工 事 概 況

本線は概ね石狩平野の坦々たる間を通じ纒に月形札比内間の地形錯綜したる丘陵地帯に於て填鑿の工稍大なるものあるの外は一般平圃の間の小築堤に過ぎず工事概して平易なりしも隨所に地質軟弱なる泥炭地帯介在して築堤の沈下を來し多大の補足盛土を要したり。

本線の主要なる工事は石狩川改修區間の堤外地全幅に互る延長 1 軒 074 米 1 の石狩川橋梁にして本河の中央部に下路構桁支間 62.4 米 4 連を架し其前後に上路鈹桁支間 22.3 米 34 連同 9.8 米 4 連を架するもので之が下部構造中水深深き箇所の五橋脚は構桁支持の關係上深 20 米乃至 23 米の井筒基礎工とす本橋梁は當初堤防天端に桁下を取り水平横斷の計畫なりしも船舶航行の眞狀に鑑み水平面上桁下迄 10 米餘の空間を必要とする爲構桁區間の 300 米を更



(5) 北海道第一の石狩川橋梁。

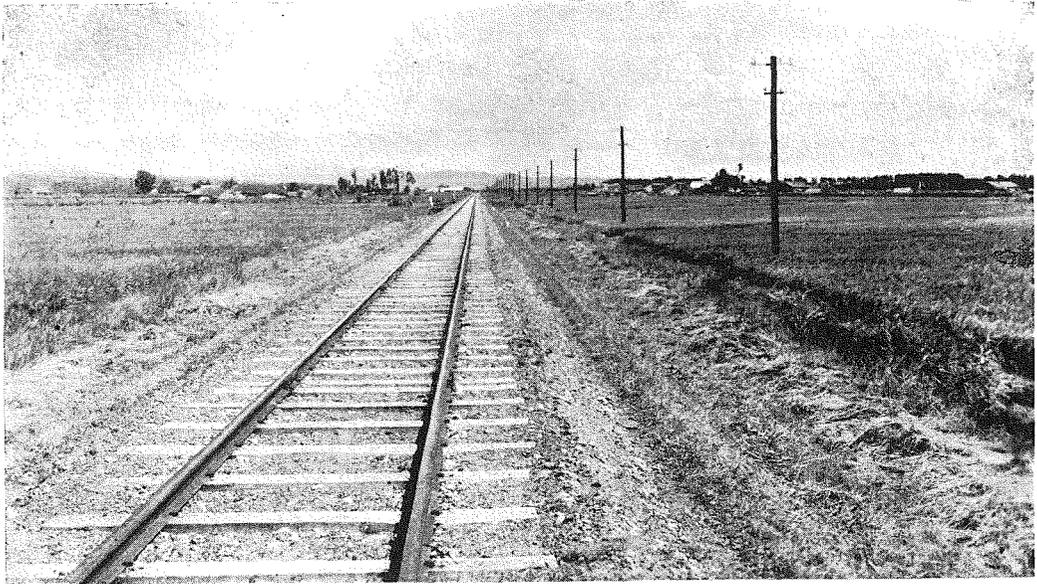
に1米昂上水平として鉸桁區間に勾配を附し堤防高さ迄漸次降下せしめ堤内地上市り勾配線と切合せ橋梁間に勾配變りを設くる特殊設計をなして工費の節約を計る工事は概ね電動動力に依り施行して圓滑なる進捗を期したるも地質一部極めて不良なるに會して工法變更の已むなきに至り施工實に困難を極めたるものあるのみならず昭和八年七月工事央の最も樞要なる時期に於て約四十日間に亙り石狩川未曾有の大洪水に遭遇し多大の被害を蒙り工事進捗を阻害せらるゝこと甚大なるものありたり而して本橋梁の構桁(支間62.4米)4連の架設はケーブルを使用し吊足場式に依り施工し又鉸桁(支間22.3米)34連は簡易クレーン車に依り架設し三ヶ月の短期間を以て竣功せしめたるは架設工事の新記録なり。

本橋梁を除きては特記すべき建造物なく工事一般容易なるを得たるも沿線は概ね美田良圃連らなる爲道路及灌漑用水路等の付換並伏樋工事の多きを特色とす。

本線の工事は軌道及通信設備の一部を直營施行せるの外凡て請負に依り施行したり。

線路單線 延長 111.111 軒 365.92 米 92

半徑	最小	300米
勾配	最急	1000分の14
築堤	873,204立米	最高 11米635
切取	293,790立米	最深 7米25
橋梁	40箇所	總延長 2軒090米206
溝橋	157箇所	
伏樋	1265箇所	
軌道	本線	111.111軒365.92米92
	側線	軒9265米25
道床砂利	100,950立米	
建物	驛本屋	20棟 1,727平米4
	機關車庫	1棟 465平米4
	保線區其他	3棟 416平米8
	官舎	72棟 8,561平米7
通信線路	互長	112,388米
	延長	1137,918米
	電話線	7回線 中繼線 1回線
	閉塞線	1回線
使用セメント	119,700袋	
用地	1750,526平米1	
	内	
	停車場敷	299,443平米3
	線路敷	1,451,082平米8
保安設備	第二種聯動機	



(6) 石狩太美驛附近の當別大平野。

運轉方式 通票閉塞器式

建設費 總額約金4,889,430圓

1 杆當り約金43,900圓

同 片 桐 嘉 靖

同 菊 地 清

擔任技師 稻石洋八郎

同 大 木 利 彦

同 佐 藤 忠 三 郎

同 小 出 夔 治 郎

同 善 如 寺 秀 太 郎

同 新 谷 昂 吉

#### 四、主なる工事と關係者

所 長 竹 股 一 郎

同 安 倍 强

同 堀 越 清 六

	工 區 名	區 間	起工年月日	竣工年月日	請負金額	工區主任	請負者
札幌	第一工區	桑 園一篠 路	昭和 4. 7.12	昭和 5. 8.11	124,750,000 <small>圓</small>	馬 場 大 州	伊藤龜太郎
	第二工區	篠 路一石狩當別	〃 7. 2.28	〃 9. 8. 5	374,000,000	馬 場 大 州 瀧 田 秀 造	〃
	第三工區	石狩當別一中 小屋	〃 8. 6. 5	〃 9. 8. 4	94,000,000	峯 山 一 雄 武 田 正 雄	〃
	第四工區	中 小 屋一札 比 内	〃 8.11.14	〃 9.11.20	96,400,000	小 野 順 太	〃
	第五工區	札 比 内一浦 白	〃 8. 8.31	〃 10. 6. 3	104,000,000	加 來 照 明	株式合資會社 西 村 組
石狩沼田口	第四工區	中 德 富一浦 白	〃 7.10.20	〃 8.11.15	79,800,000	林 正 信	〃
	第三工區	雨 龍一中 德 富	〃 4. 7.12	〃 5.11.11	186,000,000	名 淵 忠 四 郎	〃
	第二工區	和 一雨 龍	〃 2.12. 1	〃 4. 8.31	175,500,000	白 銀 爲 章 武 田 正 雄	〃
	第一工區	石狩沼田一和	〃 2.10. 1	〃 3.11.22	179,500,000	白 銀 爲 章	今 井 久 吉

#### 五、沿線主要物産

米、麥、燕麥、大小豆、牧草、馬鈴薯、蔬菜、玉蜀黍、除蟲菊、亞麻、牛馬、鷄卵